

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 恵みの森づくりコンソーシアム推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部恵みの森づくり推進課緑化推進係 電話番号：058-272-1111 (内 3035)

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 583 千円 (前年度予算額：583 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	583	0	0	0	0	0	0	0	583
要求額	583	0	0	0	0	0	0	0	583
決定額	583	0	0	0	0	0	0	0	583

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

平成23年度の「全国植樹祭5周年記念大会 (H23.5.21)」において、今後5年間の森林づくりの方針として、新たに「環境保全を重視した新たな森林づくり」を打ち出し、同方針に取り組む民間主導・県民協働の組織である「恵みの森づくりコンソーシアム」が設立された。

林業ではカバーされない里山・奥山林の持続的な保全と森林資源の活用を模索し、実践につなげるための同組織の会員募集のためのPR活動等を推進する。

(2) 事業内容

- ・ 恵みの森づくりコンソーシアム推進事務費
恵みの森づくりコンソーシアムの運営、取組みのPR、会員募集

(3) 県負担・補助率の考え方

県民との協働による森林づくり推進のための経費であるため。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	172	業務旅費（県内、県外でのイベントや打合せ）
消耗品費	209	イベント出展経費、事務用品等
役務費	144	電話代及び郵送等
使用料	53	会議室等会場借り上げ
負担金	5	
合計	583	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信

②美しく豊かな環境の保全・継承

(環境教育の推進、担い手の育成・確保)

第3期岐阜県森林づくり基本計画

3人づくり及び仕組みづくりの推進

(2) 県民との協働による森林づくりの推進

(2) 国・他県の状況

・事業の実施主体となる地域協議会の設置県 47 県 (R3)

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

県が事務局を担う。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 恵みの森づくりコンソーシアムを中心に、企業、NPO等からの提案を取り入れ、森林の持つ多様な価値を活用した森林づくり活動を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H22)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	
コンソーシアム会員数	—	37	50	—	—	74%
会員活動回数（新指標）	—	7	7	8	10	70%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	勉強会等を開催することにより、会員の知見向上及び相互間交流が図られた。 ・勉強会の開催（2回） ・作業部会の開催（5回）
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	恵みの森づくりコンソーシアム事務局である県が主体的に活動P Rや会員募集等を行う必要がある。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：まだ期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	設立当初から会員数は増加しており、会員による情報交換の場となっている。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	オンラインによる勉強会や作業部会を行い、経費の節減を図っている。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりイベント活動や会員間の交流が減少している。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 継続的に勉強会等を実施することにより、会員の知見の向上及び交流を図る。また、イベントを活用して積極的に活動のP Rを行う。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	